

さいたま市長メッセージ（令和2年8月18日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

8月に入り暑い日が続いています。特に、8月15日までの1週間は、本市の最高気温が連日35度を超えています。熱中症による救急搬送も増加し、8月は16日までに249件の救急搬送があり、その内2名の方がお亡くなりになりました。心から御冥福をお祈りするとともに、市民の皆様には十分な熱中症対策をお願いします。

今年は、マスク着用やこまめな換気などを行う「新しい生活様式」の実践と熱中症対策を両立させることが重要です。

マスクをしていると、喉の渇きに気づきにくく、体内に熱がこもりやすくなるため、熱中症になるリスクが高まります。喉が渇いていなくても水分をとり、屋外で人との距離を2メートル以上とれるときは、マスクをはずしましょう。

また、感染予防のために換気を行う場合は、外気により室温が上がります。室内の換気は、冷房を止めずに行い、設定温度をいつもより下げるなど、室温の上昇を抑えてください。

新型コロナウイルスの本市の感染状況は、8月15日までの一週間で、649件の検査を実施し、67名の新規陽性者が判明しています。20代、30代の方が約半数を占めていますが、徐々に50代以上の方が増えていきます。また、感染経路が判明している中では、家庭内での感染が約半数を占めており、注意が必要です。

お盆も終わり、市立小・中・特別支援学校も2学期が始まりました。また、多くの事業所も休暇が終わり、再び、社会経済活動が動き出しました。

引き続き、社会経済活動と感染予防を両立する「新しい生活様式」を実践し、熱中症には十分注意して、この夏を乗り切ってください。